

職員からの事業所評価集計結果(公表)

事業所名：児童発達支援センター元気キッズ チルズ

職員人数12

回答数12

回答割合100(%)

公表日：2024年3月

|  | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点など   |
|--|---|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備                                  | ① 利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか   | 12 | 0   | ・目的によって時間や空間を使い分けている(使い分けやすい)<br>・日によって利用人数にかなりの差があり、多い狭いと感じることもある   | 50人定員で建てた建物内に、1日40名の子ども通しているのに、十分すぎるくらい広さは確保している  |
|  | ② 職員の配置数は適切であるか   | 12 | 0   | ・時折教室感でヘルプを出し合いながら頑張っています<br>・クラスによって大人の人員配置を変えている<br>・子ども5人だと大人2人、7人だと3人のように、奇数の利用者だと十分に配置されないこともある   | 元気キッズの基準として2:1の配置にしていますが(国の基準は4:1)クラスによっては、多すぎない大人の中で過ごす練習が必要なため、子どもにとって必要な人員を調整することはある |
|  | ③ 生活空間は、本人が分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達などへの配慮が適切になされているか                         | 11 | 1   | ・視覚提示などを用いている<br>・玄関が広い、スロープあり<br>・配慮しつつ園や家庭での生活とかけ離れたものにならないよう試行錯誤している  |   |
|  | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 11 | 1   | ・強風の日、通気口を通して屋内に砂が入り込んでくる<br>・清潔な空間で過ごしている。必要に応じて衝立てなどを用いている<br>・トイレの数が少ないため時間差にしている<br>・施設が広いので、清掃に手が回らない箇所が出てしまう<br>・パーテーションや、視覚提示をより整えていきたい。<br>・刺激量に注意している<br>・新しい施設なのでドアが壊れたり、砂埃がすぐに入ってきたりと不便な点は多々ある。物に対しての収納が少ない | 生活空間は、直接支援をしていく職員が整えるべきもの。建物の構造上に関する不便なことは言い出したらきりがないので、工夫をしながら頑張っていくように指導していく          |
| 業務改善                                     | ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか  | 11 | 1   | ・それぞれに頑張っている…はず！<br>・会議のように、きめられた時間は設けていないので、職員によっては自身で改善しようとしてしまうかもしれない<br>・意識付けの余地があると思う   | 現在も職員が参画して進めているが、共通の認識を持って取り組めるよう今後更に意識して進めていく  |
|  | ⑥ 保育者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保育者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか  | 11 | 1   | ・保育参観等の行事があった際にはアンケートを行い、保護者の評価を把握し、日々の活動などに繋げている<br>・必要に応じて行っていると思う   | イベントの後にはアンケートを取るようになっている  |
|  | ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか               | 9  | 3   |  | 年度末に行っている   |
|  | ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   | 8  | 4   | ・見学の方など人の出入りが多いので、講評していただいている<br>・必要に応じて行っていると思う   |   |
|  | ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | 8  | 4   | ・今後もっと増やしていきたい<br>・何度途中入社であるが、現場にすぐ入り何が正しいのか情報がわからなかった。周りの先生方にも教えていただいていたが根本的な事業所としての知識や、知っておくべき情報がわからなかった<br>・確保されていると思う  | 引き続き、開催していく。  |
| 適切な支援の提供                                 | ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | 12 | 0   |  | 各自の専門領域が反映されるよう努めている  |
|  | ⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | 10 | 2   |  | 人によって使いやすさや道具が違うので統一しては行かないが、必要に応じて、数種類を使い分けている   |
|  | ⑫ 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 12 | 0   | ・必要な範囲で行っていると思う  |   |
|  | ⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 12 | 0   | ・支援計画に沿った活動、環境の設定などを工夫している<br>・中間評価については改善の余地があると思う  | 手だての更新をしながら、支援計画からそれないようにしている   |
|  | ⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 10 | 2   | ・職員の入れ替わりが激しく、チームといえないと感じる点もある   | クラス単位ではあるが、月に1回以上はミーティングを行っている  |
|  | ⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | 11 | 1   |  | ・2週に1回手立ての更新を行っている<br>・子どもたちの成長や様子をみながら活動内容を考えようとしている<br>・研修等で学んだ内容を取り入れるようになっている       |
|  | ⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか   | 12 | 0   |  |   |
|  | ⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか   | 11 | 1   |  | 朝の準備の際にパート職員を含めて1日の内容、役割分担を共有している   |
|  | ⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか  | 12 | 0   | ・行うようになっているが、時間が足りない時もある<br>・共有に時間差が生じないよう心がける必要がある  | ・クラスごとに振り返りしていること、終礼時にも共有している<br>・情報が新しいうちに共有するよう心がけている                                 |
|  | ⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | 12 | 0   | ・活動の目的を明確に記録に残している   |   |
| ⑲ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 11  | 1  |     |  |   |
| 関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携                   | ⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  | 12 | 0   |  |   |
|  | ㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | 11 | 1   |  |   |
|  | ㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか                              | 9  | 2   |  |   |

|            |         |   |  |    |  |  |
|------------|---------|---|--|----|--|--|
|            | ⑳       | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか                                      | 11   | 1  | ・全員とは言い難い                                | 体制を整えようとしたが、主治医と直接やり取りにまで至らず…。引き続きアプローチは続けていく                                  |
|            | ㉑       | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | 11   | 1  |  |  |
|            | ㉒       | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | 11   | 1  |  |  |
|            | ㉓       | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか   | 7  | 4  |  |  |
|            | ㉔       | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  | 8  | 4  | ・近所のどろんこ保育園との交流があった<br>・近隣の保育園と交流したこともある | 引き続き、行っていく   |
|            | ㉕       | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか   | 5  | 7  | ・代表が委員となり参加して下さっているが施設としては今後の課題である       | 下半期以降、朝霞市の委託事業も始めたので参加するようにしていく  |
|            | ㉖       | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | 12   | 0  |  |  |
|            | ㉗       | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか   | 10   | 2  |  | リハの先生が個別の実施をしたり、FBの際に家での過ごし方などお話しする機会はある。ただ今年度「ペアレント」が実地出来なかったため、次年度は計画的に行っていく |
| 保護者への説明責任等 | ㉘       | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 12   | 0  |  |  |
|            | ㉙       | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 12   | 0  |  |  |
|            | ㉚       | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | 12   | 0  | ・保護者発信でのご相談や、個別支援計画の更新時など回数は多くないが実施している  |  |
|            | ㉛       | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | 2  | 9  | ・保護者会、父母会などは開催されていない。                    | 参観日で保護者同士でお話しする機会はあるが「父母の会」という名前では集まってはいない                                     |
|            | ㉜       | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | 12   | 0  |  | ご相談があった際には、面談日程をできる限り早く設定している  |
|            | ㉝       | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | 12   | 0  |  | 毎月、おたよりを発行している   |
|            | ㉞       | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 12   | 0  |  |  |
|            | ㉟       | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 12   | 0  |  | 視覚提示や、お伝えした内容を文字にしてお渡ししたりすることもある   |
|            | ㊀       | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | 12   | 0  |  | 夏祭りなど、地域の方にも(お友達にも)声をかけて参加して下さい！とアナウンスしている                                     |
|            | 非常時等の対応 | ㊁   | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 12 | 0  |  |
| ㊂          |         | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 12   | 0  |  | 毎月実施している   |
| ㊃          |         | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | 12   | 0  |  | 看護師も加わり、保護者に確認している   |
| ㊄          |         | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 12   | 0  |  | 年度ごとに新しいものをもらっている  |
| ㊅          |         | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 12   | 0  |  | どの職員でも見れるようにしている   |
| ㊆          |         | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 9  | 3  |  | 年度の初めに行っているのですが、途中入社した社員は参加していない可能性がある。入社タイミングで実施する                            |
| ㊇          |         | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う支援計画に記載しているかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか                | 11   | 1  |  | 契約時にもお伝えしているが、個別支援計画にも記載している   |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。